参考資料 2019年6月4日 東京電力ホールディングス株式会社 福島第一廃炉推進カンパニー

## 魚介類の核種分析結果 < 福島第一原子力発電所 2 0 k m圏内海域 > (同所港湾内を除く)

試料名 (部位)	採取場所 (地点番号)	採取日	試料濃度(Bq/kg(生)) (半減期)		
			C s - 1 3 4 (約2年)	C s - 1 3 7 (約 3 0 年)	C s 合計
クロソイ(筋肉)	2F敷地沖合2km付近(T-S7)	2019年5月28日	6.7	95	101.7 <sup>1</sup>

本分析における放射能濃度の検出限界値を下回る場合は,「ND」と記載し,個別の核種については()内に検出限界値を示す。

分析は東京パワーテクノロジー株式会社にて実施

1 基準値(2012年4月1日以降) Cs-134、Cs-137の合計: 100Bq/kgとの比較は有効数字2桁で行う。 今回の測定結果を有効数字2桁で丸めると100Bg/kgであり、基準値を超えない。



T-S7

2F敷地沖合2km付近